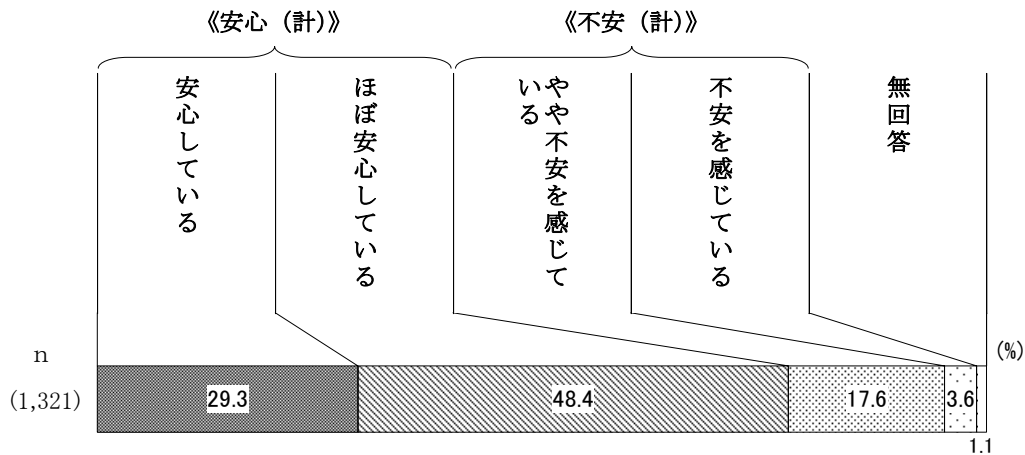


1. 水道水に対する意識について

(1) 水道水への安心感

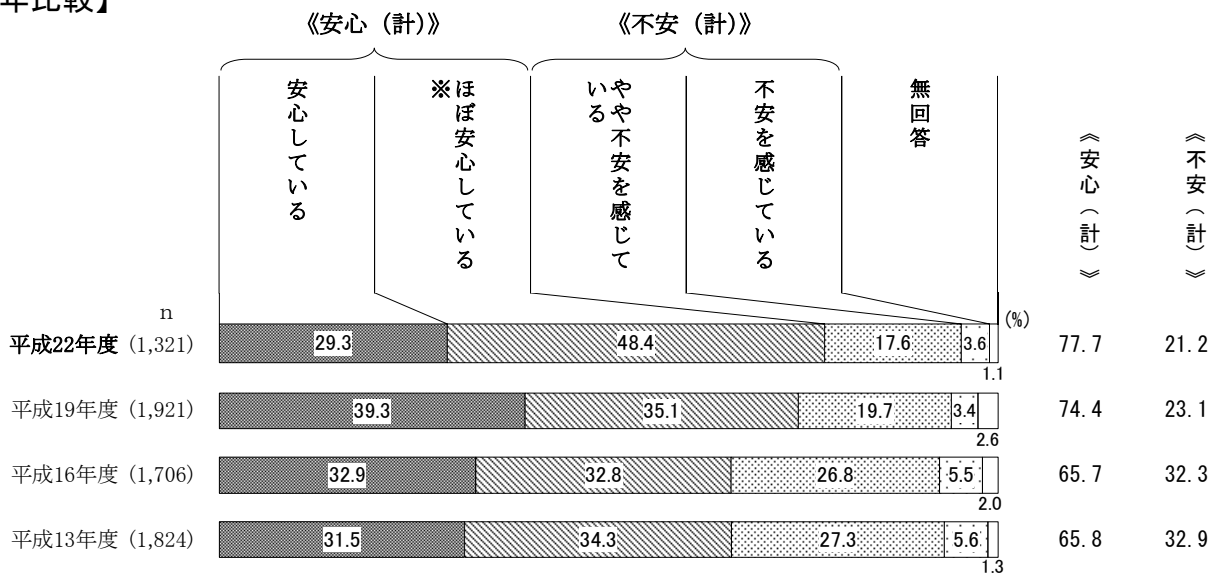
◇《安心（計）》が77.7%で過去最高

問1 あなたは、川崎市の水道水について、どのようにお感じですか。(〇は1つだけ)



水道水への安心感は、「ほぼ安心している」の割合が48.4%で最も高く、これに「安心している」(29.3%)を合わせると、《安心(計)》が77.7%を占める。一方、「やや不安を感じている」(17.6%)と「不安を感じている」(3.6%)を合わせた《不安(計)》は21.2%となっている。

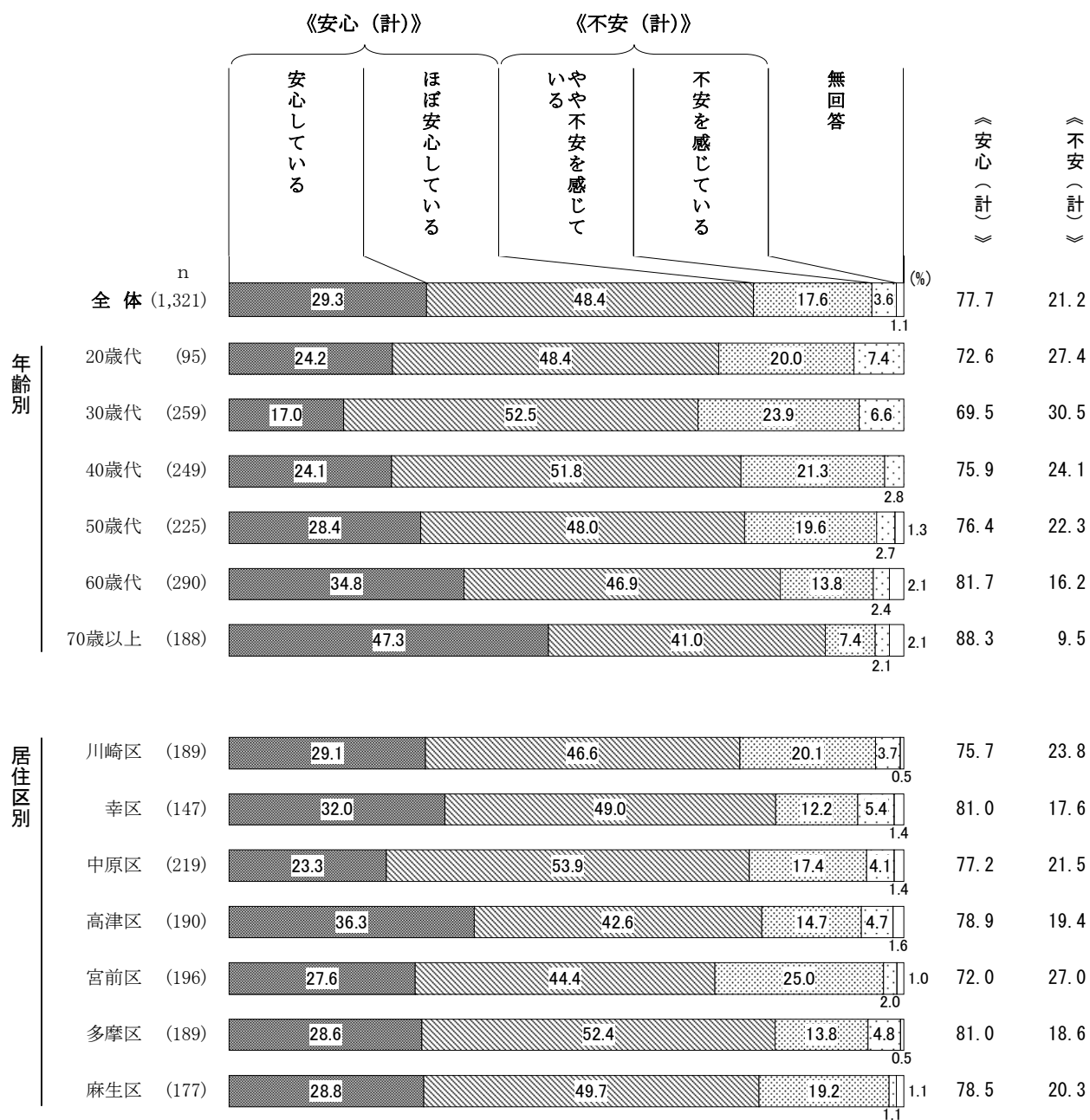
【経年比較】



※平成19年度以前の調査では「やや安心している」

経年で比較すると、平成19年度調査に比べ「安心している」が10ポイント減少したが、《安心(計)》は3.3ポイント増加し、過去最高となっている。

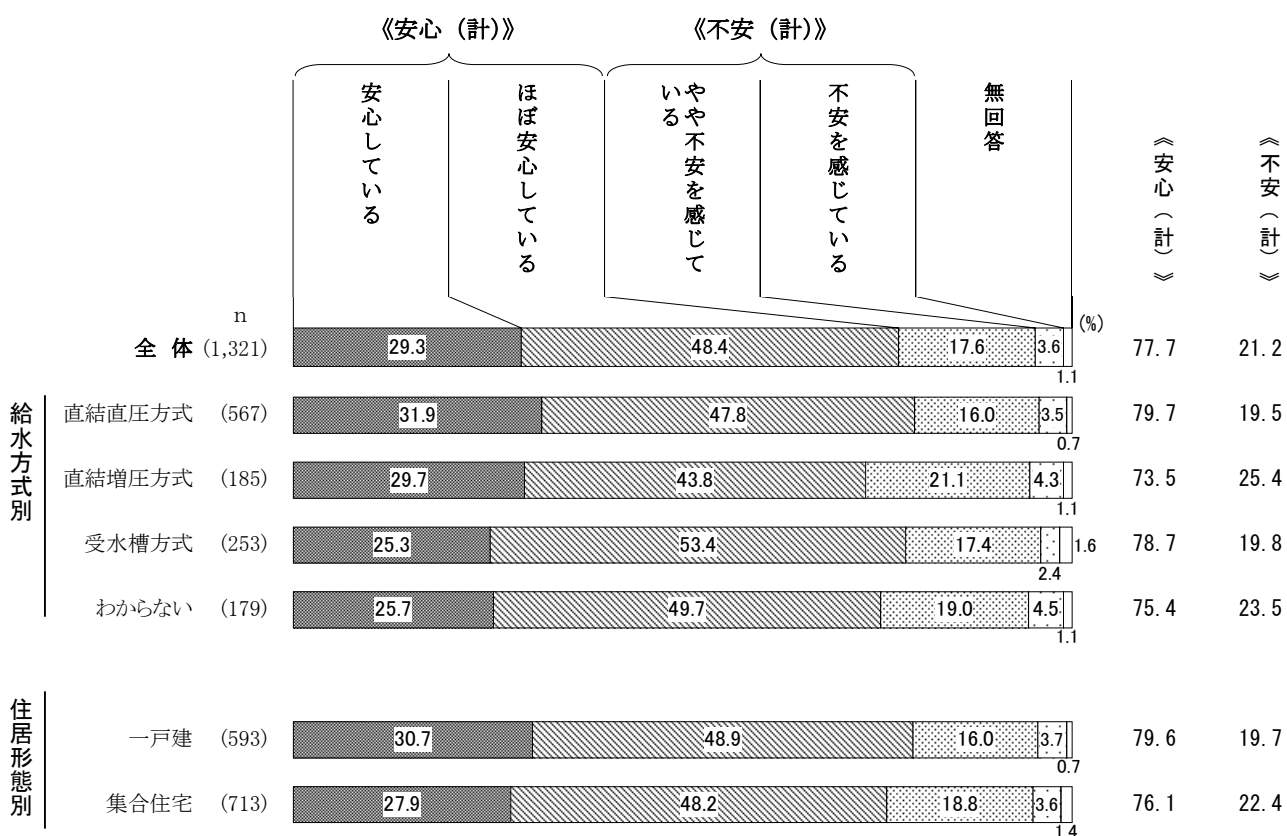
○年齢別／居住区別 水道水への安心感



年齢別にみると、30歳代以降、年齢が高くなるほど《安心 (計)》の割合が高くなっている。

居住区別にみると、《安心 (計)》は幸区、多摩区で8割を超えて高く、《不安 (計)》は宮前区で3割弱と比較的高くなっている。

○給水方式別／住居形態別 水道水への安心感



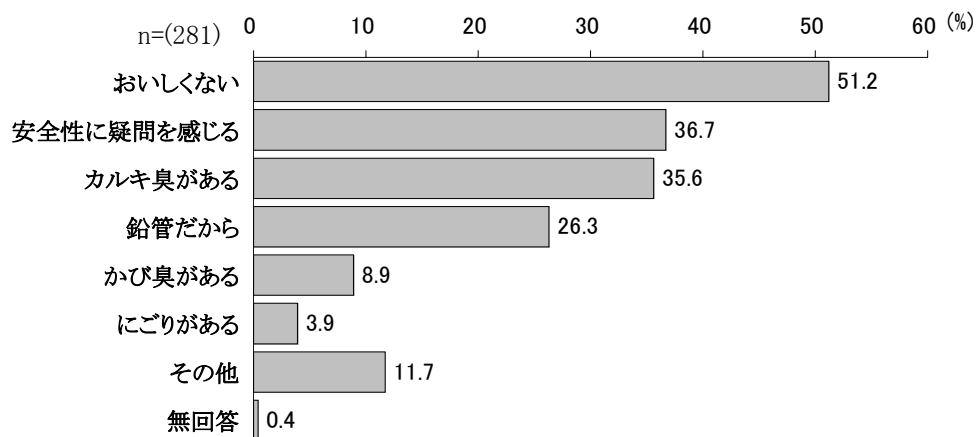
給水方式別にみると、《不安 (計)》は『直結増圧方式』『わからない』で比較的高い。
住居形態別にみると、集合住宅のほうが《不安 (計)》がやや高くなっている。

(2) 水道水に不安を感じる理由

◇「おいしくない」が5割強

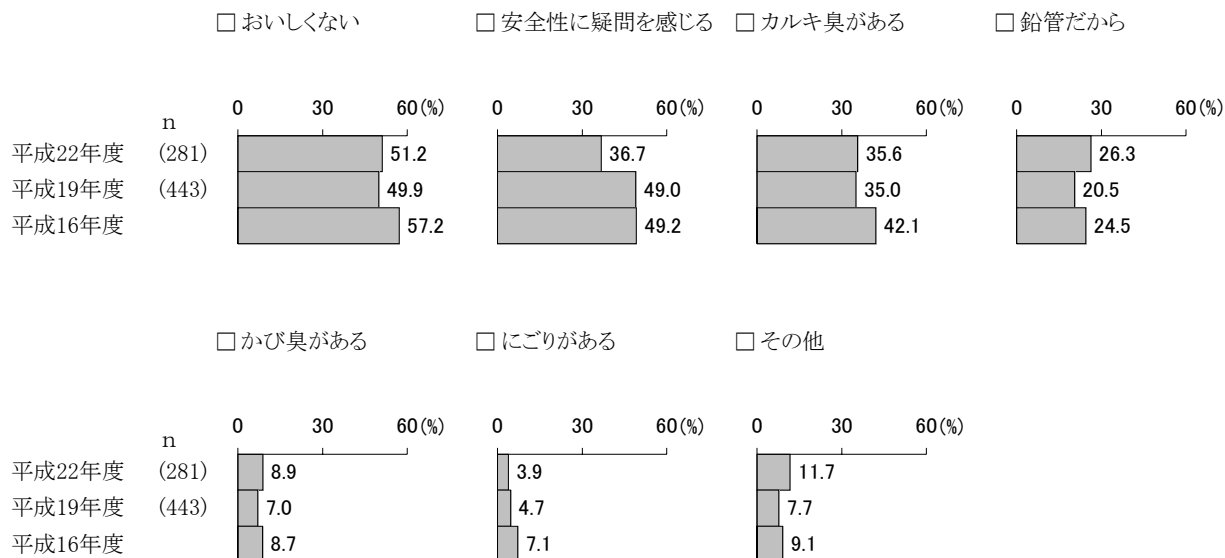
【問1で「やや不安を感じている」か「不安を感じている」とお答えの方に】

問1-1 川崎市の水道水に不安を感じられるのはなぜですか。下記の説明をご参照の上、お答えください。(〇はいくつでも)



水道水に不安を感じる理由は、「おいしくない」の割合が51.2%で最も高く、以下、「安全性に疑問を感じる」(36.7%)、「カルキ臭がある」(35.6%)、「鉛管だから」(26.3%)の順となっている。「その他」の内容としては、「手が荒れる」「ポット等が早く傷む」「さびが出る」「色のついた水が出た」「貯水タンクの水なので」などとなっている。

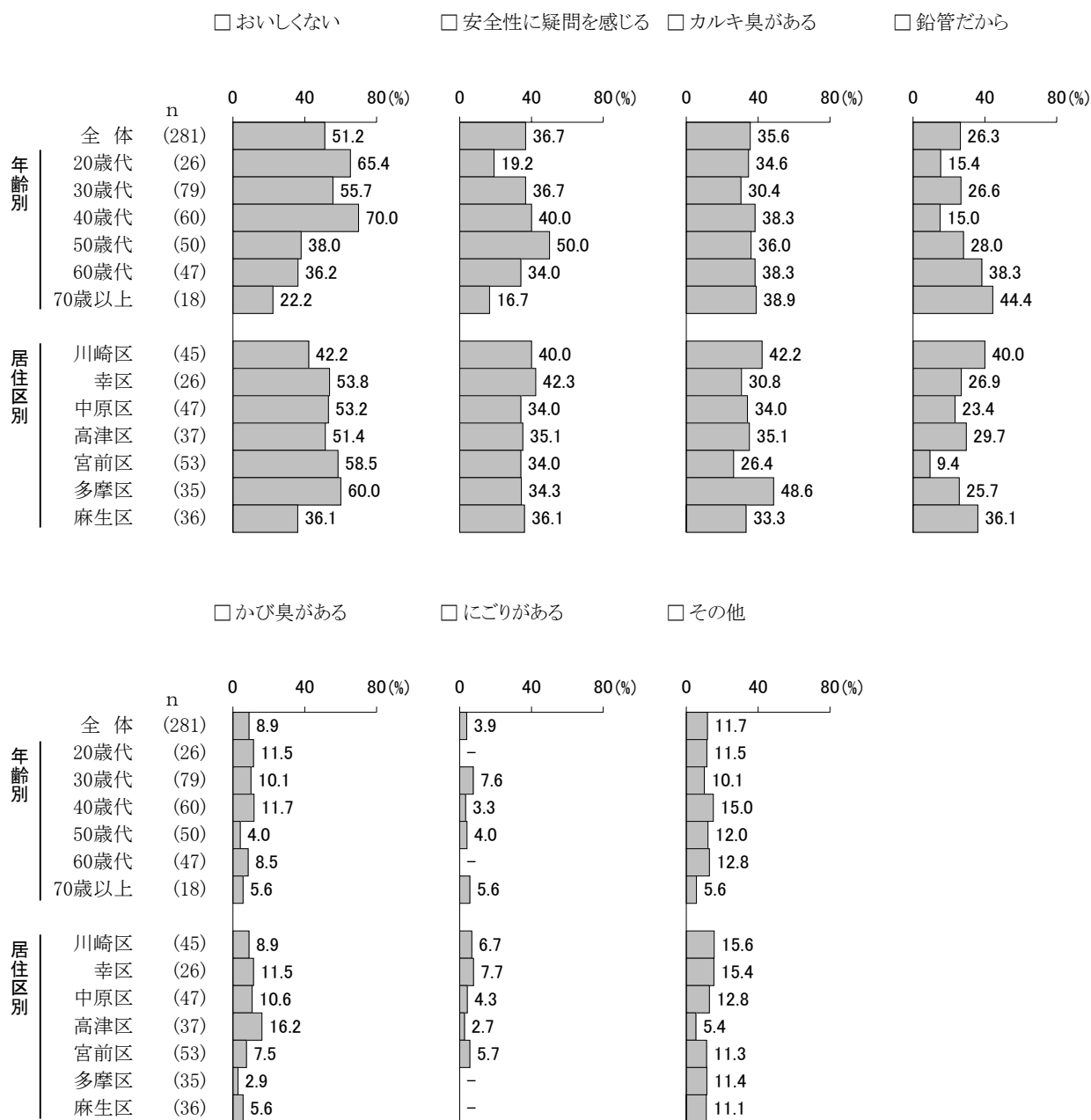
【経年比較】



※平成16年度の回答者数は不明

経年で比較すると、平成19年度調査に比べ「安全性に疑問を感じる」が12.3ポイント減少し、「鉛管だから」が5.8ポイント増加している。

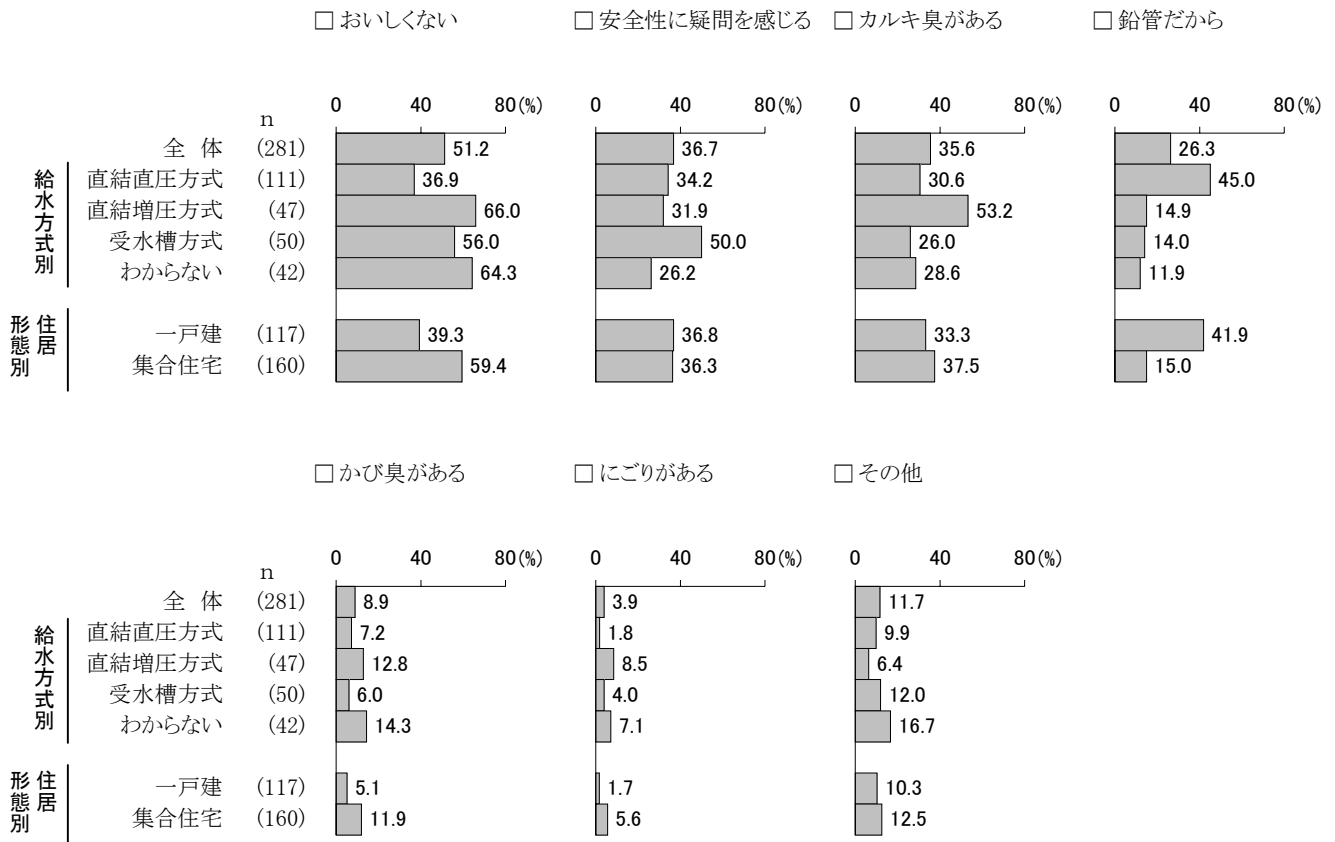
○年齢別／居住区別 水道水に不安を感じる理由



年齢別にみると、概ね年齢が低くなるほど「おいしくない」の割合が高く、年齢が高くなるほど「鉛管だから」の割合が高くなっている。

居住区別にみると、「おいしくない」は川崎区と麻生区を除き5割以上、「カルキ臭がある」は川崎区と多摩区で4割以上となっている。「鉛管だから」は川崎区と麻生区で比較的高い。

○給水方式別／住居形態別 水道水に不安を感じる理由



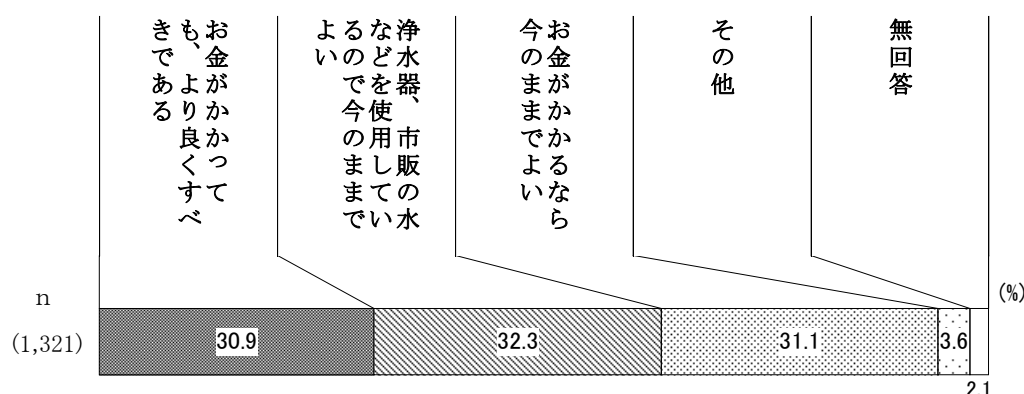
給水方式別にみると、直結直圧方式では「鉛管だから」の割合が最も高い。直結増圧方式では「カルキ臭がある」、受水槽方式では「安全性に疑問を感じる」が他の給水方式に比べ高くなっている。

住居形態別にみると、一戸建では「鉛管だから」、集合住宅では「おいしくない」が最も高くなっている。

(3) 水道水質向上の是非

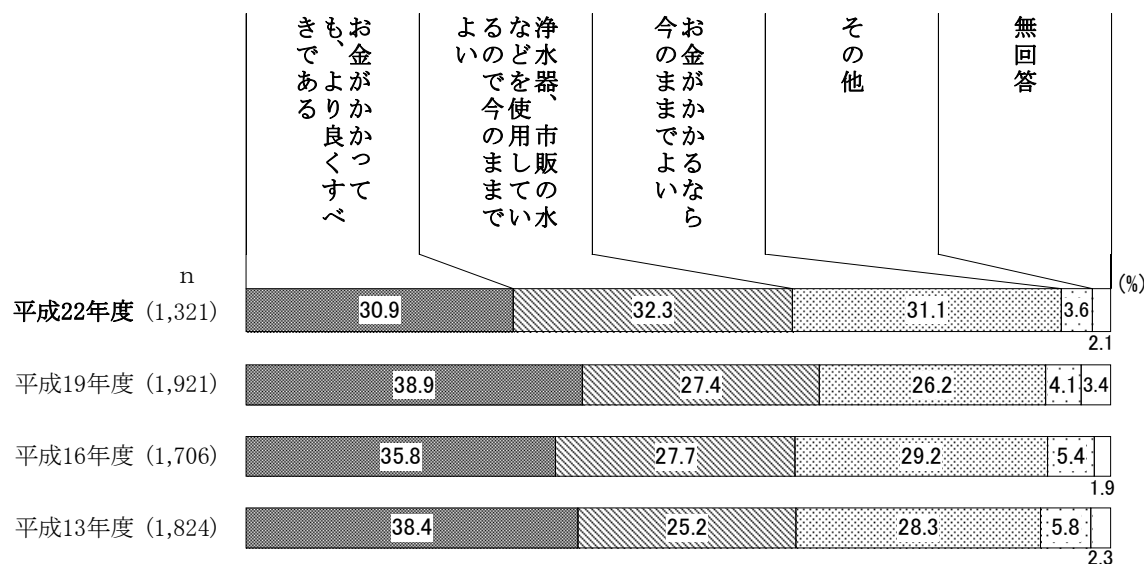
◇今のままでよいが6割強

問2 川崎市の水道水は法律で定められた水質の基準に適合した水ですが、あなたは、川崎市の水道水の水質（味、臭い等）を良くすることについて、どのように思いますか。（○は1つだけ）



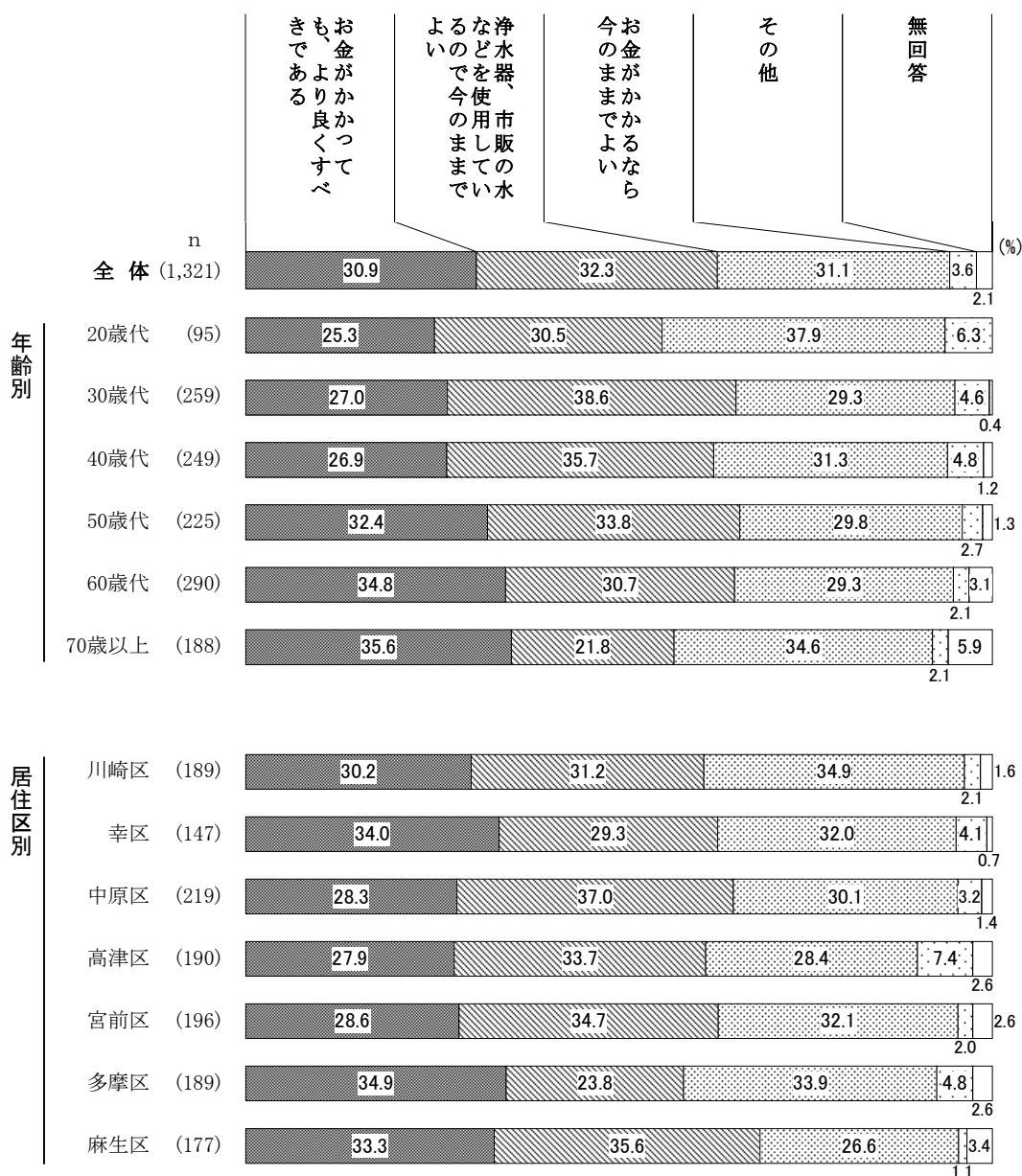
水道水質向上の是非は、「お金がかかっても、より良くすべきである」（30.9%）、「浄水器、市販の水などを使用しているの今のままでよい」（32.3%）、「お金がかかるなら今のままでよい」（31.1%）、「その他」（3.6%）となっている。

【経年比較】



経年で比較すると、「お金がかかっても、より良くすべきである」は平成19年度調査に比べ8.0ポイント減少し、「浄水器、市販の水などを使用しているの今のままでよい」「お金がかかるなら今のままでよい」がともに4.9ポイント増加している。

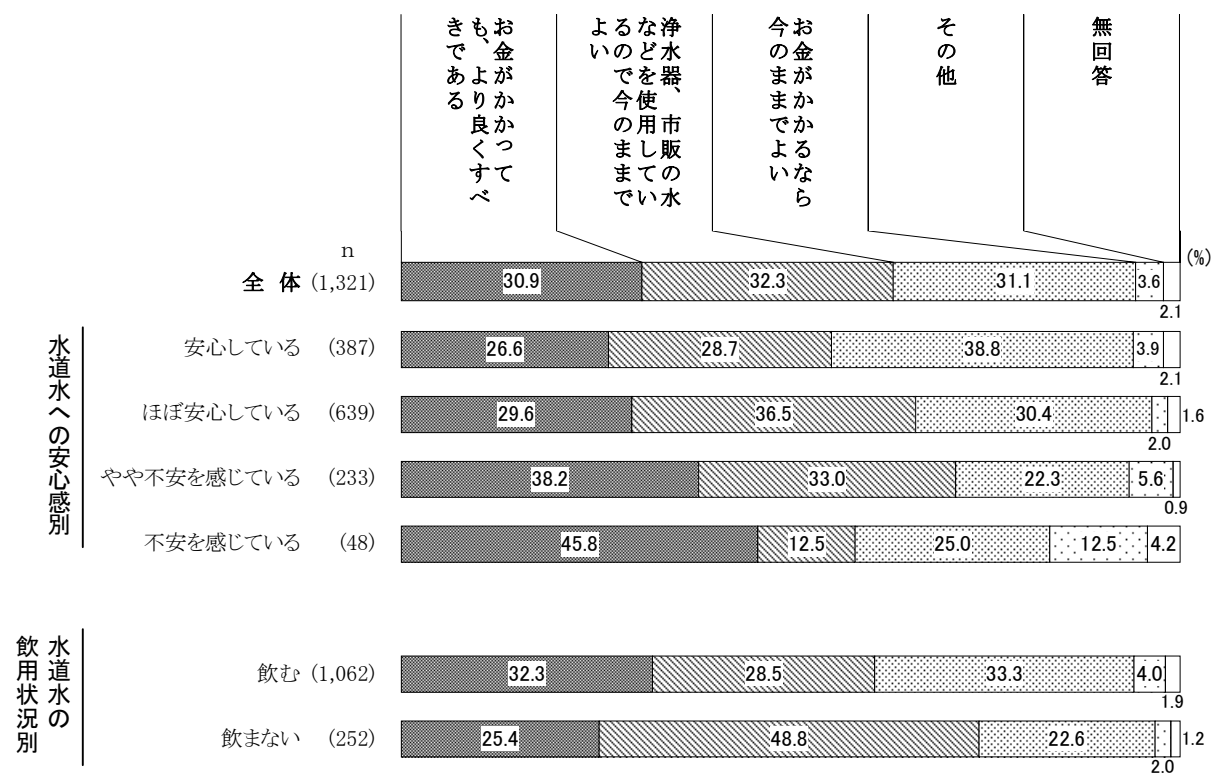
○年齢別／居住区別 水道水質向上の是非



年齢別にみると、「お金がかかっても、より良くすべきである」の割合は、60歳代以上で比較的高い。「浄水器、市販の水などを使用しているので今のままでよい」は70歳以上を除きいずれの年代でも3割以上、「お金がかかるなら今のままでよい」は20歳代、70歳以上で比較的高くなっている。

居住区別にみると、「お金がかかっても、より良くすべきである」の割合は、幸区、多摩区、麻生区で比較的高い。「浄水器、市販の水などを使用しているので今のままでよい」は多摩区で2割強と低く、「お金がかかるなら今のままでよい」は川崎区、多摩区で比較的高くなっている。

○水道水への安心感別／水道水の飲用状況別 水道水質向上の是非



水道水への安心感別にみると、不安が大きくなるにつれ「お金がかかっても、より良くすべきである」の割合が高くなっている。

水道水の飲用状況別にみると、水道水を飲まない人では、「浄水器、市販の水などを使用しているのも今ままでよい」が5割弱と高くなっている。